

誰もが安心して暮らせる あたたかい街・札幌に

市民の切実な声に応じて、現地調査や相談活動などを行い、改善するまで粘り強く取り組み、安心して暮らせる札幌にするために力を尽くします。



札幌市議会議員（白石区選出）

伊藤りち子

いじめは深刻化する前に解決を

いじめ問題は、深刻化する前に早期対処すること、そのために、子どもたちに目が行き届く教員の体制が求められます。「命を奪うような問題に発展させてはならない」と、教員の多忙化改善、少人数学級の実現や教員、スクールカウンセラーの増員を求めました。

市税の滞納・差し押さえ

改善を求める

病気のある方の生命保険や、子どものための学資保険を差し押さえることもある。「子どもの権利条例」などに照らしても、差し押さへの対象から外すべきです。滞納者の生活に寄り添い、悪質滞納者と区別した対応を求めました。

市政アンケートへの要望に

現地調査、改善へ

市政アンケートで多数の要望が寄せられました。雨が降ると市営住宅の敷地内で水があふれると相談を受け、札幌市とともに現地を調査し、改善を求めました。



また、「自宅前に排水路の溝があり、車いすでの出入りが難しく困っている」と要望を受けて現地調査をしました。「さっそく改善してもらいました。ありがとうございます」と喜びの声が寄せられました。

市民の切実な願い

200項目

市長に予算要望



（右から）宮川・伊藤・井上・小形の各市議

共産党市議団は昨年12月20日、上田文雄市長に2014年度予算への要望書を提出。市民の切実な要望の実現を訴えました。

秘密保護法許すな！ 撤廃の世論広げて

秘密保護法が強行された前日の12月5日、市民とともに反対集会に参加しました。

言論を抑圧し、日本を「アメリカとともに戦争する国」につくり変える秘密保護法は撤廃しかありません。



デモ行進する（左から）伊藤、小形、宮川、井上の各議員

日本共産党 札幌市議団



2014年1・2月号外

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>

日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。